

議会だより

まつうら ゆ あ

今回の題字は、**松浦 優亜**さん（吉田小学校6年生）です。

輝かそう 安芸高田 見つめなおそう ふるさと

吉田中学校区



高宮中学校区

向原中学校区



安芸高田郷土（ふるさと）学交流会（12月14日 クリスタルアージョ）

一問一答

12月定例会…………… 2～ 3 **10人が市政を問う** …… 8～13

あんな こんな

常任委員会報告 …… 4～ 7 **地域のかがやき** ……18



安芸高田市
市議会のページ

可
決

条例改正

人事院勧告による 市職員給与、期末手当・勤勉手当 特別職・市議会議員期末手当引上げ

12月定例会

12月定例会を12月9日～20日までの会期で開催しました。

一般会計、特別会計、水道事業会計など9会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(4ページに掲載)

3常任委員会では、付託された議案や所管事務調査を実施しました。(5～7ページに掲載)

本定例会において付議された25議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、10人が市政を問いました。(8～13ページに掲載)

議案第69号

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

■ 討論

■ 反対討論

山根 人事院勧告は一般職に対するものであり、大変厳しい財政状況下において、特別職がこの勧告を準用することに反対。

■ 採決

■ 賛成

新田 芦田 玉重
玉井 前重 石飛
児玉 大下 山本
熊高 宍戸 秋田
塚本 金行 青原
水戸

■ 反対

山根

賛成多数

議案第70号

○市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■ 討論

■ 反対討論

山根 議会は、人口減と市の将来の財政を考慮し、定数を2減とした。特別委員会では議員報酬のあり方も検討中であり、勧告の準用には反対。

■ 採決

■ 賛成

新田 芦田 玉井
前重 石飛 児玉
大下 山本 熊高
宍戸 秋田 塚本
金行 青原 水戸

■ 反対

玉重 山根

賛成多数



本会議の議決風景

市境確定へ

江戸期から懸案 三次市三和町と 安芸高田市甲田町の境界 約3キロ

可決

提案理由

安芸高田市に隣接する三次市との境界が判明でない区域の境界を確定させることについて、広島県知事は、関係市町の意見を聴いてこれを決定することとなっており、知事に対する意見について、地方自治法第9条の2第3項の規定により、議会の議決を求めるもの。

議案第72号

○市の境界の決定に関する意見について

質疑

金行 長い間かかったが、境界が確定し、実線が引かれるのはいつか。

西岡総務部長 今後については、議会の議決後に議決通知を県に送り、両市が意見書を県知事に提出したのち、県知事による境界決定がなされる。

両市へ理由を付した決定書が交付され、県知事の処分が確定する。その期間は約30日となる。その後、県から総務大臣に届出をされ、最終的に総務大臣の告示が行われ、大臣から国の行政機関の長に通知され完結となる。早ければ年度内、手続きによっては新年度になる。

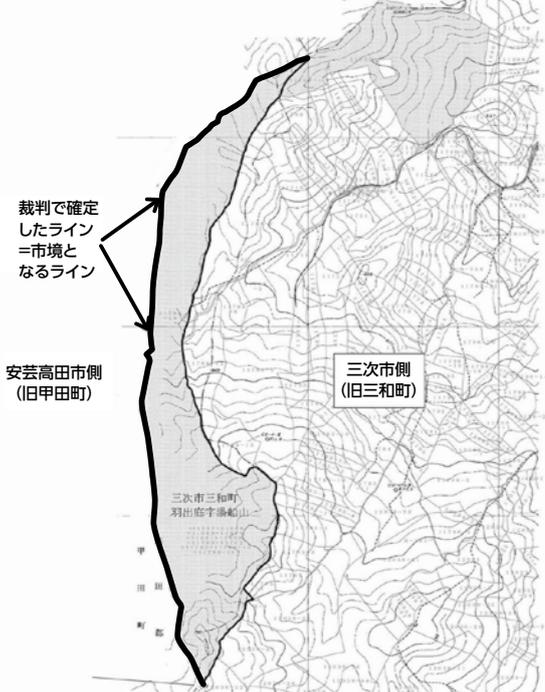
採決

全員賛成



現地確認の様子

三次市・安芸高田市 市境位置図 (三和町・甲田町)



裁判確定した市境となるライン

令和元年度

一般会計 4 億 8885 万 6 千円を追加
(予算総額 226 億 1609 万 8 千円)

可決

歳入

- ・ふるさと納税制度寄附金 1 億 2000 万円
- ・企業版ふるさと納税 5310 万円

増額

歳入 (款) 寄附金

(単位:千円)

	補正前	補正額	計	
1 寄附金	180,001	173,100	353,101	
2 総務費寄附金	150,000	120,000	270,000	ふるさと納税制度寄附金
3 商工費寄附金	30,000	53,100	83,100	企業版ふるさと納税

主な補正予算

- 老人福祉に要する経費 4312 万円
特別養護老人ホーム (百楽荘) 移転増床に伴う補助金



移転増床中の百楽荘 (吉田町吉田 国道54号線沿い)

- 公立保育所管理運営費 5100 万円
(仮称) 八千代保育園に伴う造成工事等 (刈田保育園・八千代南保育園統合予定)



統合する保育園 (仮称) 八千代保育園建設予定地 (八千代町上根)

- 河川維持管理費 1700 万円
吉田 3、八千代 4、美土里 3、高宮 4、甲田 2、向原 3 河川の浚渫

総務企画常任委員会

12月16日に委員会を開き、議案5件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市会計年度任用職員の給与等に関する条例

○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○過疎地域自立促進計画の変更について

ほか2件

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 新田 和明
委員 石飛 慶久
山本 優
塚本 近
先川 和幸

会計年度任用職員の給与等に関する条例

■概要

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、創設される会計年度任用職員の給与及び費用弁償について定めるもの。

■質疑

新田 この条例の制定、改正により費用として市が受ける影響は。

内藤総務課長 年間総支給額で約15%程度上昇すると見込んでいる。

新田 民間の専門職や経験、資格を有している方と入れ替える考えは。

内藤総務課長 外郭団体からの専門的な方の新たな任用は考えていない。

石飛 会計年度任用職員は地方交付税措置の対象となるのか。

内藤総務課長 総務省の回答では現在、財務省と協議中とのこと。

塚本 具体的には本市にどのような影響があるのか。

内藤総務課長 任用要件の厳格化が目的であり、処遇改善に

影響があると考えている。

先川 臨時的任用職員の事務職について一年契約で更新していくことになるが制限があるのか。

内藤総務課長 違う部署に配属になったとしても年数の制限はない。

ひとくちメモ

会計年度任用職員制度とは？

今までの臨時的任用職員は自治体により取り扱いが異なっていたが、この制度によりある程度共通事項が定められた。

て実施する事業は過疎地域自立促進計画に掲載されている事業に限られるため、新たに追加掲載するもの。

■質疑

塚本 保育所規模適正化事業「八千代保育園予定」となっているが5千万円の工事をこの事業に充当するのか。

久城子育て支援課長 八千代保育園の用地造成工事に充当。

塚本 八千代の保育園は私立と認識している。公立保育所の予算に計上されているか。

久城子育て支援課長 保育の責務は市にあるため、市有地の造成工事は市が実施し、私立保育園に無償貸与するもの。

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

■概要

施策の推進を図るため職員を派遣することができ公益的法人等に広島県土木協会、株式会社道の駅あきたかたを追加するための条例改正

森林環境譲与税基金条例

■概要

森林環境譲与税が創設されたことにより使途や財源の管理を行い、事業に充当して活用するために基金を創設するもの。

■概要

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、安芸高田市職員の育児休業等に関する条例等の関係条例の規定の整備を行うもの。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

概要
過疎債を財源とし

過疎地域自立促進計画の変更について

文教厚生常任委員会

12月17日に委員会を開き、議案3件、陳情・要望3件、請願1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市多文化共生推進拠点施設設置及び管理条例

○安芸高田市人権会館設置及び管理条例の一部を改正する条例

○安芸高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例

委員長 秋田雅朝
副委員長 玉井直子
委員 玉重輝吉
委員 児玉史則
委員 青原敏治
委員 水戸眞悟



多文化共生拠点施設として活用される「輝ら里」

多文化共生推進拠点施設設置及び管理条例

■概要

旧安芸高田少年自然の家「輝ら里」を本市の多文化共生を一層推進するための拠点施設として活用するため、設置及び管理条例を制定するもの。

■質疑

玉重 指定管理者は公募するのか。

中村人権多文化共生推進課長 指定管理者は、多文化共生を推進する団体が一つであり、具体的には、特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会である。

人権会館設置及び管理条例の一部を改正する条例

■概要

今後、より一層福祉分野との連携を進めるため、合併以前の名称を引き継いできた「人権会館」の名称を「人権福祉センター」に改めることに伴い、条例の一部を改正するもの。

■質疑

児玉 福祉保健部と

の業務分担はできているのか。

中村人権多文化共生推進課長 福祉保健部の担当課とは事前調整等行い、共催のような形で実施しているのが現状である。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■概要

国民健康保険税の納期限を変更するもので、それに伴う国民健康保険税条例の規定を整備するもの。

■質疑

玉重 職員の業務量はどのようになるのか。

竹本税務課長 現在は、4月に仮算定、7月に本算定と2回通知書を送っているものが1回にまとまるため、事務の軽減になると考えている。

陳情・要望

精神保健、福祉施策充実にする要望書

〔要望者〕 あきみのり会（旧精神障害者家族会） 代表 平本 和昭
〔審査結果〕 上記の要望は委員会で採択とした。

・「国による妊産婦医療費助成制度創設」を求める意見書採択を求めることについて
・妊産婦医療費助成制度等の創設を求めることについて

〔陳情者〕 広島県保険医協会 理事長 長谷 憲
〔審査結果〕 上記の2件の陳情は委員会で不採択とした。

請願

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

〔審査結果〕 上記の請願は引き続き継続審査とした。

産業建設常任委員会

12月18日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市道の駅三矢の里あきたかた設置及び管理条例

○安芸高田市下水道事業の設置等に関する条例

委員長 熊高昌三
副委員長 芦田宏治

山根温子
前重昌敬
大下正幸
金行哲昭



今春オープン予定「道の駅三矢の里あきたかた」

道の駅三矢の里あきたかた設置及び管理条例

■概要

市民や道路利用者等に良好な休憩の場を提供し、地域の活性化や魅力ある地域づくりの推進等を図ることを目的に設置される「道の駅三矢の里あきたかた」の運営等について定めるもの。

■質疑

金行 研修室や多目的広場(多目的室)を地域や子供の研修学校行事などで利用する場合の、利用料金の特例措置は設けられているのか。

佐々木木工観光課 命担当課長 減免のエリアは2階の研修室、産直棟、休憩情報発信棟の多目的室、多目的広場が該当する。減免については、受益者負担の原則を徹底する必要があると考えている。

芦田 再来年にオープンする田んぼアートの相乗効果を図るのであれば、道の駅の開館時間と休憩日を検討する必要があると思うが、現時点の考えは。

竹本副市長 相乗効果が図れるよう検討したいと考えているが、最終的には、指定管

理者が開館日や開館時間を決定する。

佐々木木工観光課 命担当課長 本来であれば、条例に開館時間等を明記すべきであるが、各テナントから詳細についていろいろな意見があり、現在調整をしているため規則で定めさせていただく。

山根 災害時に防災拠点としてどのような管理されるかが条例に記されていない。防災拠点としての機能を明確にすべきと思うが。

竹本副市長 災害時は、休館日などは想定できず、どういった状況でも対応しなければならぬ。広島市とも災害時の拠点施設として協定を締結する段取りを進めている。具体的には今後協議を進める。

下水道事業の設置等に関する条例

■概要

下水道事業の地方公営企業法の適用に伴い、公共下水道事業特別会計及び、特定環境保全公共下水道事業特別会計を統合し、公営企業会計として運営するため、地方公営企業法の適用範囲や、経営の基本等について定めるもの。



公共下水道 吉田浄化センター

報告事項

【産業振興部関係】

○コワーキングオフィス整備事業について



オフィスイメージ

○農林土木施設災害における平成30年7月豪雨災害及び令和元年7月豪雨災害の復旧状況について

【建設部関係】

○公共土木施設災害における平成30年7月豪雨災害及び令和元年7月豪雨災害の復旧状況について

○水道ビジョンの策定について

10人が 一問一答 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

インターネット議会中継 一般質問・本会議をみてください!

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<https://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

新田 ソサエティ5.0のシステムを、総合計画後期基本計画に盛り込む考えは。市長 市の活性化や福祉向上に必要と認識している。総合計画後期基本計画にソサエティ5.0の目指す



新田 和明 (無所属)

ソサエティ5.0

総合計画後期 基本計画への反映は

市長/対応した施策を展開する必要がある

新田 災害時対応は。市長 避難行動要支援者名簿を作成し、関係団体にお願しているが、支援者の負担や個人情報取り扱いなどの課題で、策定に至っていない現状である。

防災関連システムの運用について

新田 障害者や高齢

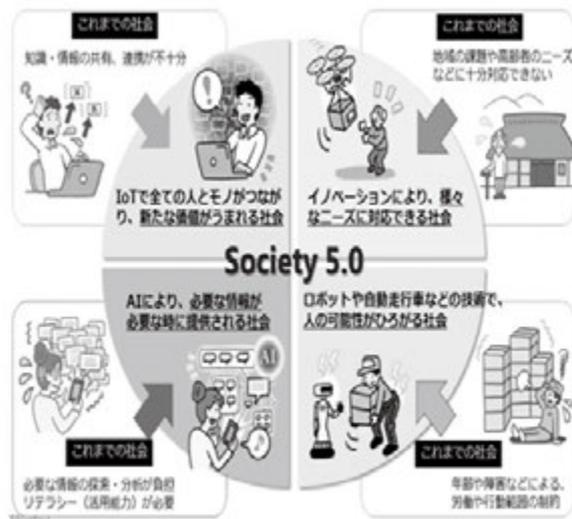
社会を意識し、施策に盛り込んでいくよう考えている。

新田 ICT技術で遠隔授業を行っては。教育長 効果的な方法と認識している。研究を深めていく。

小学校授業のICT化について

新田 ICT技術で

新田 消防団詰所のエアコンやテレビは市が設置するべきでは。市長 優先度の高い設備から行い、予算の増額も考えていきたい。



AI（人口知能）により、一人一人が快適で活躍できる社会の仕組み (内閣府ホームページより)

宍戸 学校運営協議会制度導入にあたり、理解と協力を得るための市民への周知は、**教育長** 広報誌やホームページへの掲載、また、リーフレットの回覧などを通して理解を深めていただき、推



宍戸 邦夫
(無所属)

学
校

運営協議会制度 導入について

教育長/「地域とともにある学校づくり」に向け取り組む

宍戸 新たな過疎法制定に向けた動きがある中で、市としての対応は。
市長 本市においては過疎法の適用がないと存続はないという思いだ。国、県に対して新たな過疎法制定に向けて強く要望していく。

進と充実が図れるよう取り組む。
過疎法について



学校運営協議会制度導入に向けた研修会

宍戸 防災の視点から改修等に係る費用への助成制度の拡充は。
市長 防災的な見地から抜本的な検討を考えておかなければならない課題だと思っている。

**農業用ため池
改修の助成制度
拡充について**

山根 広島県内の中小企業・小規模企業は、県内企業数の99%を占めそのうち小規模企業は約8割に上る。本市の割合は。
市長 28年度経済センサス・活動調査データの分析結果によると、小規模を含む市内中小企業は99・9%、そのうち小規模企業は88・4%。
山根 経済産業省の地域経済分析システムのデータから、市

産業振興

**市内中小企業・小規模
企業振興条例の制定は
市長/必要な条例、慎重に制定
に向け努力していく**



山根 温子
(無所属)

内の企業数と従業員数を経年的に見ると建設業と卸売業・小売業に大きな減少が見られた。市長の受け止めは。

大分類の企業数のうち増減が大きかった2つの業種の変化 (▲はマイナスを表す)

大分類	業種中分類名	H 21年	H 24年	H 26年	H 28年	21年と28年との増減比較
建設業	総合工事業	94	83	76	80	▲14
卸売業・小売業	飲食料品小売業	75	54	48	50	▲25

大分類の従業員数のうち増減が大きかった3つの業種の変化 (単位:人)

大分類	業種中分類名	H 21年	H 24年	H 26年	H 28年	21年と28年との増減比較
建設業	総合工事業	644	570	486	536	▲108
卸売業・小売業	飲食料品小売業	356	239	224	238	▲118
医療・福祉	社会保障・社会福祉・介護事業	768	1345	1707	2022	1254

市内産業分類別企業数と従業員数の経年的変化のうち、増減の大きい中分類別業種の変化
(経済産業省「地域経済分析システム」[RESAS リーサス]のデータをもとに作成)

市長 全国的な傾向。大きな課題と認識。
山根 企業を取り巻く環境は厳しさを増し、経営基盤の弱い小規模企業や中小企業は深刻な状況にある。事業の持続的発展に向けた条例制定の考えは。
市長 広島県並びに県内周辺自治体の状況を踏まえ、条例制定に向け努力する。

災害時

小原保育所跡地の活用を

市長／検討する



金行 哲昭

(無所属)

核となる機関の設置が有効であり、専門的な判断や支援が可能となるものと考ええる。

金行 保育所跡地を災害避難場所、子どもと遊ぶ場、研修、民宿などに活用は。
市長 耐久性の問題がありいろいろな角度から検討する。

成年後見制度について

金行 成年後見制度内容と中核機関として専門的助言等の支援が必要と考えるが。
市長 後見人支援などの事業を進めていくためには、その中



小原保育所跡地

新規就農者について

金行 新規就農者に農業次世代資金や技術及びノウハウを身に付けることが必要と考えるが。

市長 農業法人研修施設整備等の条件整備を行っており、農業者が技術や経営ノウハウを習得する機会増大を考えている。

防災

屋外スピーカー設置が必要

市長／財政的な面を考慮する必要がある



青原 敏治

(無所属)

青原 屋外スピーカーは。
市長 屋外スピーカーを整備するには、初期投資費用や維持管理費用など財政的な面を考慮する必要がある。屋外スピーカーの整備については具



ハザードマップ説明会

鳥獣害補助金について

体的な検討は行っていないが、防災情報を的確に伝えることは行政の課題であるため、大きな見地から検討していきたい。
青原 自主避難体制の確保は。
市長 年度当初に各部署の職員体制の配置計画を作成してお
青原 補助金見直しは。
市長 要綱改正は検討したが、現在のところ改正は行っていない。

秋田 英語の必修化の充実に向けた専任教師の配置の検討はできないか。
教育長 国で学級担任制と教科担任制を検討しており、本市では動向を注視しての検討を考えている。



秋田 雅朝
 (無所属)

学校教育施策

小学校英語教育で専任教師の配置を

教育長／国の動向を注視して検討

秋田 本市での各学校のエアコン整備の完了を受け、夏休みを短縮して教職員の働き方改革の検討を。
教育長 児童生徒の学びの充実等各校長からの意見聴取等で必要な検討をしたい。

秋田 本市の中学校統合の現況と今後は。
教育長 単に学校数を検討するだけでなく、適切な教育環境



小学校高学年の英語教育の授業風景

秋田 向原高校の魅力づくりの所見は。
市長 学校・行政・地域の共通認識で。
教育長 県教委との連携を含めた働きかけを丁寧に行い、存続・魅力づくりを支援していきたい。

秋田 向原高校の魅力を向上させる。
教育長 登山道の整備8箇所、危険木の伐採等の他、看板の修繕を2箇所行う。

向原高校の存続・魅力づくり

整備の視点で検討の開始を考えている。

郡山城跡の整備について

史跡の保存と山の維持管理は

市長／市の関係部局が連携し森林整備を進めたい



芦田 宏治
 (無所属)

芦田 郡山城は国の史跡ということと教育委員会任せになっているが、農林水産課や森林に関する学識経験者を入れて史跡の保存と山の維持

管理を並行して取り組むべきではないか。
市長 森林の持つ本来の機能を取り戻すため、森林整備の経験者の知識を得ながら、関係部局が連携を取りながら整備を進めていきたい。
教育長 郡山を山としての本来の機能を守りつつ、史跡を保存できるような事業を推進していく。



山頂付近にある勢溜の壇からの眺望

市税について

登記申請の義務化を

市長／公平性な税の賦課のため要望する



石飛 慶久

(無所属)

石飛 収納率を下げ、地方税法・不動産登記法に翻弄されている。国等へ不動産

登記申請義務化の要望を。

市長 申請義務化について、国等へ要望をしていきたい。

石飛 賦課することが、定住・移住に逆行しないか。

副市長 税の課税において、免税点等のなか、移住・定住等の阻害要件はない。

石飛 市民税の家屋敷税の賦課実態と市税条例・規制との整合性を伺う。

市長 賦課と規定しているが、課税をしていない。他市町の状態を見ながら、検討する。

石飛 固定資産税における土地・家屋の免税点を廃止に。

市長 市条例では、免税点に満たない場合でも課することができると規定しているが、検討する。

安芸高田市 平成30年度 固定資産税の法定免税点未満の課税標準額

	課税標準額総額	筆数又は棟数
土地	8億5,646万5,000円	31,261
家屋	1億5,768万9,000円	2,365

※固定資産税は、課税標準額に税率1.4%を乗じます。
総務省のオープンデータより

(総務省のビッグデータ)

県道の拡幅

県道37号線の歩道整備は

市長／用地買収を進める



児玉 史則

(無所属)

児玉 向原町のやすらぎから広島銀行の区間は現在歩道の拡幅が中止となっているが、今後の計画は。

市長 令和2年度から用地調査に着手し用地買収を進める旨、広島県より聞く



歩道の拡幅が望まれる向原町の県道37号線

ており、引き続き要望していく。

財政健全化対策

児玉 財政健全化計画と当初予算の数値がかげ離れており計画自体が形骸化している。健全化計画の精度を上げていく努力が必要ではないか。

市長 ご指摘の件は反省を踏まえて今後素早く計画変更しながら対応していく。

職員人件費

児玉 職員は削減されているが、住民人口一人当たり人件費は12万7千円で過去10年削減していない。外部委託による人件費削減が必要であり、郵便局は市内に16箇所あるため支所の代替業務ができるのでは。

市長 現在2箇所郵便局と提携している。コストの問題もあるが、活用は今後しっかり考えていく。

一般質問

熊高 現在、農家の最大の課題は獣害対応だと受けとめている。その抜本的対策は山林の整備にあると考えている。その取り組みに新たな制度として、31年4月からスタートした森



熊高 昌三
(無所属)

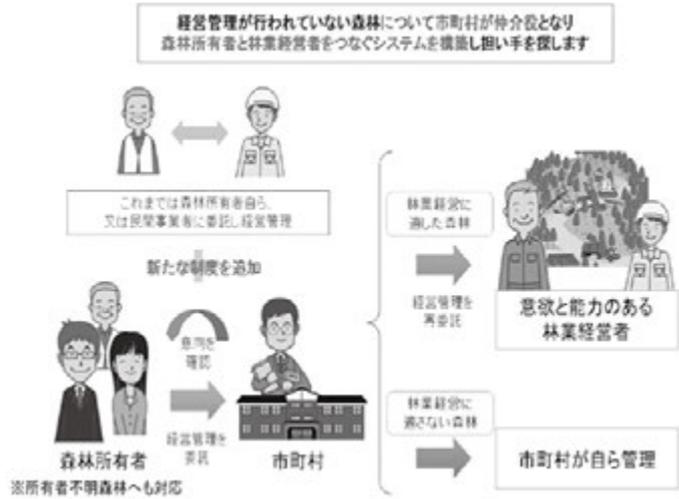
森林整備について

森林経営管理制度の活用を

市長／一部基礎調整に着手している

林管理制度を活用すべきと思うが、現状と市民への啓発の状況を伺う。
市長 広島県森林協会会長としても将来を見据えて取り組みを始めている。

市としても山林所有者の責任を明確化し、森林環境譲与税を活用し、手入れや管理の行き届かない放置林を自治体が中
に入って経営譲渡を受ける等して、森林経営を再委託する等の手法で山林の整備を行えるよう、現在美土里町の一部山林で基礎調査に入っている。
今後この制度のメリット、デメリットを含め市民の皆様にご覧いただきたいと考えている。



31年4月1日に施行された林野庁が示した森林経営管理制度（森林経営管理法）の概要（林野庁ホームページより）

道の駅整備調査特別委員会 現地調査



12月20日に委員会を開き、4月完成予定の道の駅三矢の里あきたかたの現地調査を行いました。



道の駅三矢の里あきたかた

- 休憩・情報発信棟
休憩・情報発信エリア、観光コンシェルジュ、特産品（土産物）販売等
- 産直棟
菜色健美をコンセプトワードとしたベジパーク安芸高田
- レストラン棟
道の駅レストラン&ベーカリー
- トイレ棟

地域懇談会
意見・要望

について 調査を開始!



(里山整備の状況を確認／吉田町横山地区)

■有害鳥獣対策に関する調査（産業建設常任委員会）

「有害鳥獣の駆除」や「ジビエの取り組みの現状」について執行部に報告を求めたほか、「里山整備」「超音波忌避装置の設置状況」について現地を調査しました。

【里山・竹林整備の現地調査】

効果

- ・整備後は獣の隠れる場所が少なくなり獣の出没が減ったほか、被害が減少している。

問題点等

- ・整備について地権者から同意を得ることや、境界がはっきりしない場合が困難。
- ・大木の伐採にかなりの経費がかかるほか、技術者の確保が困難。
- ・伐採した材の持ち出し・活用ができない。

【超音波忌避装置の現地調査】

性能・効果

- ・超音波で脅して逃げさせる装置のため、獣道などの進入路へ柵やワナと併せて補完的に設置。赤外線による感知の範囲は、7メートル程度。
- ・シカやイノシシを捕獲していたが、全く来なくなった。

問題点等

- ・雨天時は効果が出にくい。
- ・シカは川端に住み着くようになり、山からではなく、川からの侵入が多くなっている。



(超音波忌避装置を確認／吉田町上入江地区)

■通学路整備に関する調査（文教厚生常任委員会）

整備・対策状況等について、説明を求めました。今後の取り組みも注視していきます。

町別	令和元年12月現在の対策済箇所
吉田町	国道54号（高野）の路面補修
八千代町	市道勝田根之谷線（佐々井）のカラー舗装、国道54号（勝田）のガードパイプ設置
高宮町	県道4号（佐々部）のカラー舗装
甲田町	市道新町福丸線（上甲立）のガードパイプ設置、市道甲立中央線（上甲立）の横断歩道設置
向原町	県道37号（坂）の信号機の時間調整

今後の調査に注目

各常任委員会では、右記の項目を中心に、今後調査を進めます。

調査の結果や、執行部へ意見した内容は、随時お知らせします。

常任委員会名	重点調査事項
総務企画常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通（路線バス、お太助バス・ワゴン、JR等） ○公共施設及び市有地の管理運営・利活用 ○災害時の避難及び防災 ○人口減対策・定住施策
文教厚生常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路整備 ○多文化共生 ○高齢者・障害者福祉
産業建設常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣害対策 ○道路の整備・管理

組合議会議員
前重 昌敬
熊高 昌三
金行 哲昭
青原 敏治
先川 和幸
ほか北広島町議会議員3名

認定

○平成30年度芸北広域環境施設組合
歳入歳出決算認定について

可決

○芸北広域環境施設組合廃棄物の処理
及び清掃に関する条例の一部を改正す
る条例について

可決

○広島県市町総合事務組合を組織する
地方公共団体の数の減少及び広島県市
町総合事務組合規約の変更について

(主な審査)

令和元年12月4日に芸北広域環境施設
組合議会の定例会が北広島町で開催
され、議案4件を慎重に審査し、いずれ
も原案のとおり可決認定しました。

ごみ処分 から 再利用 (リユース) へ

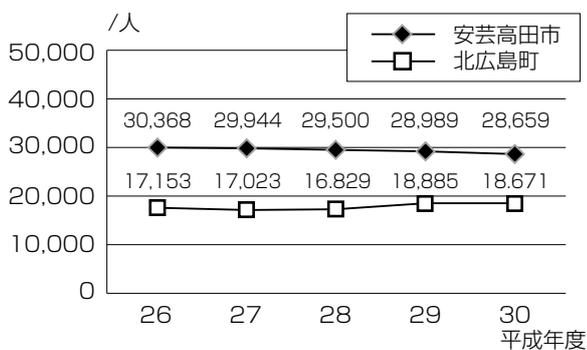
[平成26年度決算]

ごみ総処理量12,151t
ごみ処理費 4億9542万円

4年間
人口減少

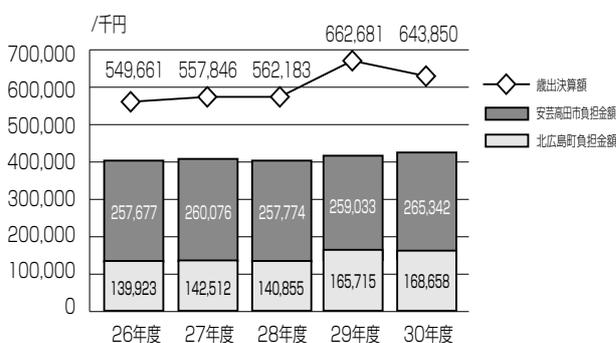
[平成30年度決算]

ごみ総処理量12,750t
対比 599t 増加
ごみ処理費5億8246万円
対比 8704万円増加



組合構成市町別人口推移

(平成28年度までの北広島町の人口は芸北地域を除いたもの)



組合構成市町負担金推移

監査委員意見 (抜粋)

- ・事業系ごみ処理手数料について、適正な料金水準が事業系ごみの減量化・リサイクルに繋がることを念頭に改定を検討されたい。
- ・再利用 (リユース) の取り組みについて、他市町の事例を参考に事業実施に向けて積極的に取り組まれたい。
- ・事業の費用対効果について、例えば、死亡獣畜の処理装置の設置や廃校を活用したごみ回収拠点の整備等、費用対効果を勘案しながら検討を進められたい。

令和元年度広島県市議会議長会主催 北部ブロック議員研修会 開催

県北3市（三次市・庄原市・安芸高田市）



令和元年 10月28日（月）13:30～
高宮田園パラッツォ 大交流室

パネルディスカッション

テーマ「安芸高田市地域おこし協力隊員の
活動と定住について」

パネリスト

南澤 克彦さん 森本 真希さん
中溝 国久さん

主な内容

- ①地域おこし協力隊員の活動を通じた地域の活性化。
 - ②起業をきっかけとした地域への定住・定着について。
- ※地域おこし協力隊員の本市への定着率は100%



講演

演題「循環型社会の実現に向けた
廃棄物処理について」

講師

広島県環境県民局長
森永 智絵氏

主な内容

- ①一般廃棄物（ごみ）の市町の処理責任。
- ②分別の徹底と再生利用の促進及びごみ処理施設の計画的整備の必要性。

研修成果

●パネルディスカッション

活動内容の紹介や移住の経緯、起業の内容についてのパネルディスカッションにより、地域への定住・定着を図る取り組みについて学ぶことができました。

●講演

講演をとおして廃棄物の区分や処理の枠組み、廃棄物処理の歴史や循環型社会を実現するための現状と課題を学ぶことができました。

上記のように、中山間地域である北部3市の課題をしっかりと認識し、3市議会議員の情報交換もでき、意義ある研修会となりました。

議会のうごき 10月～12月の議会の主な活動状況

10月

- 16日 議会運営委員会
- 18日 議会広報特別委員会
- 21日 全員協議会
道の駅整備調査特別委員会
常任委員会構成等調査研究特別委員会
- 28日 広島県市議会議長会
北部ブロック議員研修

11月

- 1日 議会広報特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
田んぼアート事業調査特別委員会
常任委員会構成等調査研究特別委員会
- 27日 産業建設常任委員会

12月

- 2日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 9日 第4回定例会(開会)
常任委員会構成等調査研究特別委員会
- 10日 予算決算常任委員会
田んぼアート事業調査特別委員会
議会広報特別委員会
- 11日 本会議 (一般質問)
- 12日 本会議 (一般質問)
- 16日 総務企画常任委員会
- 17日 文教厚生常任委員会
- 18日 産業建設常任委員会
- 20日 常任委員会構成等調査研究特別委員会
第4回定例会 (開会)
全員協議会
道の駅整備調査特別委員会

お詫びと訂正 議会だより第63号に誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。

- P6 マイナポイント ポイントは期間限定
〈誤〉令和元年10月～令和2年6月30日まで、2～5%のポイントが還元される予定。
9カ月間だけの期間限定の制度。
〈正〉令和2年10月から期間限定で実施。前倒しされる可能性あり。
還元率25%で、ポイント上限は1人当たり5,000ポイントの予定。

■令和2年第1回定例会は 2月20日(木)から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

八千代町

沖田一吉さん

「地域懇談会」の「集約」が「どう活かされる」が傍聴させていただいた。冒頭からの教育関係の討議は熱気を感じ、すばらしかった。

八千代支所も子供たちの教育の一翼を担うであろう「図書館の2階への移転反対」に関心が集まり、今も話題になっている。

この熱気の中であれば、現地を見てもらったり、話を聞いてもらえるのではないかと勇気をもった気がした。



地域のかがやき

吉田 令和初 書初め



可愛振興センター(1月4日)

八千代 お正月飾りの準備



八千代町里山保全まつり(12月22日)

美土里 初釜に集う



文化協会茶道部(1月13日)

高宮 消防団年末夜間 特別警戒団長巡視



高宮ハーモニー広場(12月26日)

甲田 令和2年初投げ



安芸高田ハンドボールクラブ(1月3日)

向原 初優勝おめでとう



第7回川村毅杯安芸高田市小学校駅伝競走大会(11月16日)

編集後記

令和元年12月6日、浜田市長が今限りでの退任を決議されました。3期12年安芸高田市のため、時代を先取りした取り組みをされてこられました。心から敬意を表したいと思います。

4月18日には新市長が就任されますが、合併から15年、令和2年、次の世代へと進んでまいります。

道の駅オープン、東京オリンピック、田んぼアート公園整備と大きなイベントも続きます。

また、今年は市長選挙、市議会議員選挙があり、節目の年でもあります。議員定数2名減で16名となりますが、皆様の負託に応えられるよう精一杯努力してまいります。

(山本 優)

〈発行責任者〉

議長 長 先川 和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根 温子

副委員長 玉井 直子

委員 新田 和明

菅田 宏治

玉重 輝吉

山本 優